

IV 従業員調査結果

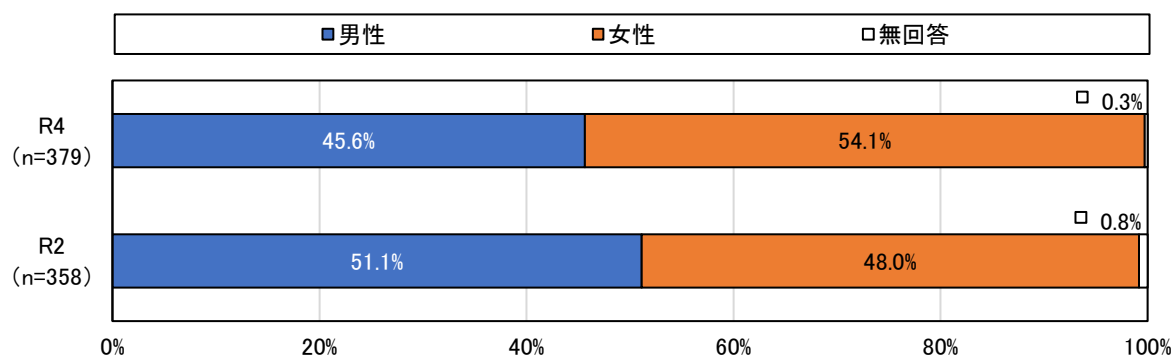
1 あなたご自身について

【問 1】

(1) 性別

性別は、「男性」が 45.6%、「女性」が 54.1%となっている。

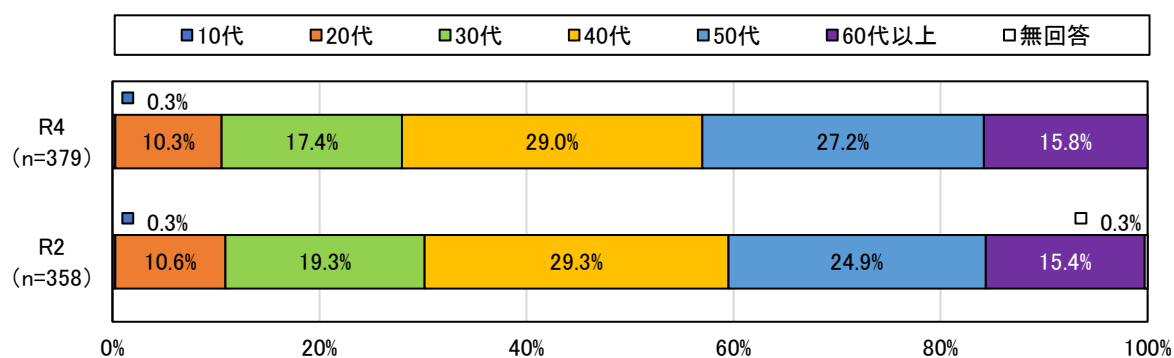
図表 1-1 性別



(2) 年齢

年齢は、「40代」が 29.0%で最も高く、次いで「50代」「30代」となっている。『40代以上』が全体の 72.0%を占めている。

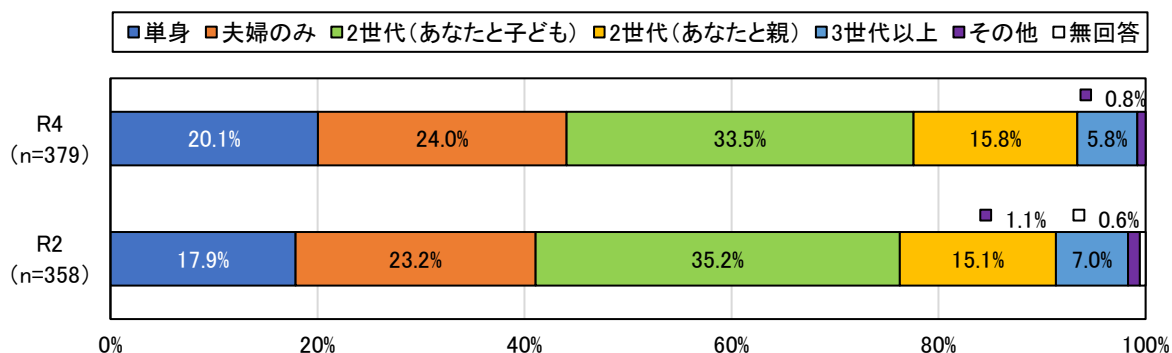
図表 1-2 年齢



(3) 世帯構成

世帯構成は、「2世代（あなたと子ども）」が33.5%で最も高く、次いで「夫婦のみ」「単身」となっており、『2世代（あなたと子ども、あなたと親の合計）』が全体の49.3%を占めている。

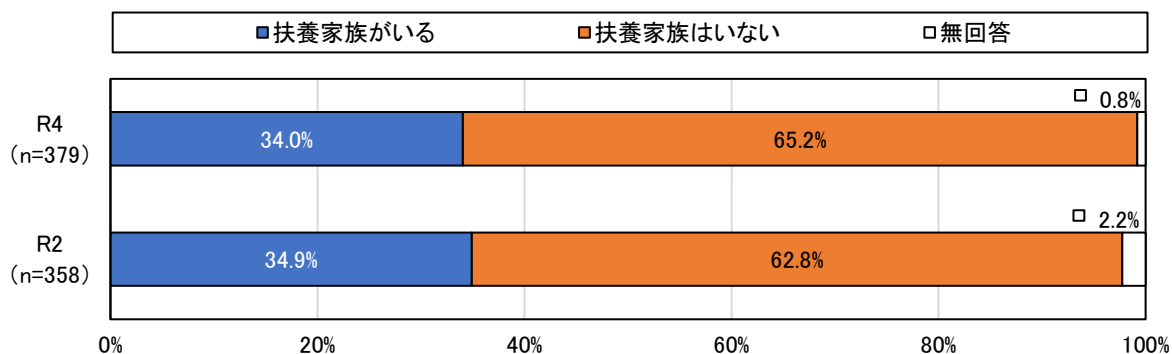
図表 1-3 世帯構成



(4) 扶養の状況

扶養の状況は、「扶養家族はいない」が65.2%を占めている。

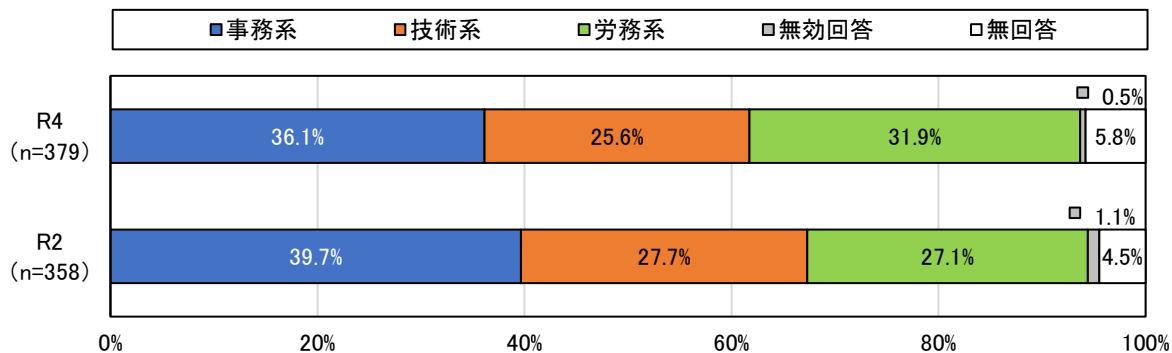
図表 1-4 扶養の状況



(5) 職種

職種は、「事務系」が36.1%で最も高く、次いで「労務系」「技術系」となっている。

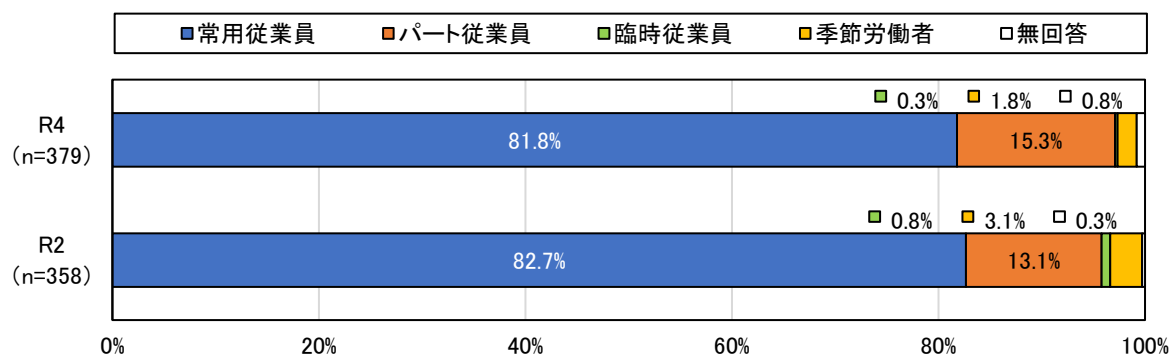
図表 1-5 職種



(6) 就業形態

就業形態は、「常用従業員」が 81.8%を占めており、次いで「パート従業員」となっている。

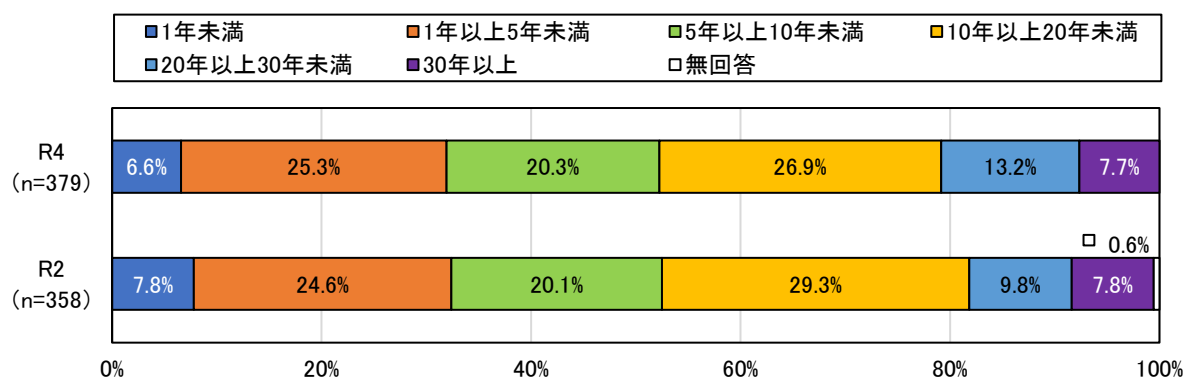
図表 1-6 就業形態



(7) 勤続年数

勤続年数は、「10 年以上 20 年未満」が 26.9%で最も高く、次いで「1 年以上 5 年未満」「5 年以上 10 年未満」となっており、『20 年未満』が全体の 79.1%を占めている。

図表 1-7 勤続年数

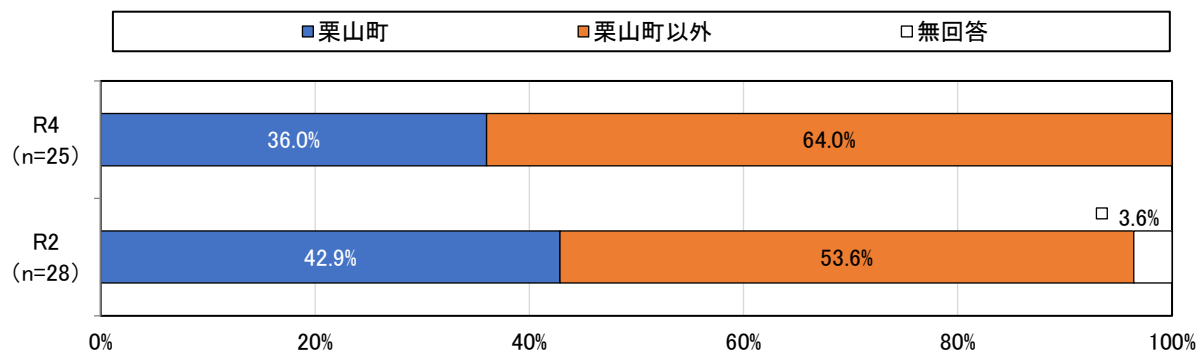


※(8)～(12)は、問1(7)勤続年数で「1年未満」と答えた方が回答

(8) 出身地

出身地は、「栗山町」が36.0%、「栗山町以外」が64.0%となっている。

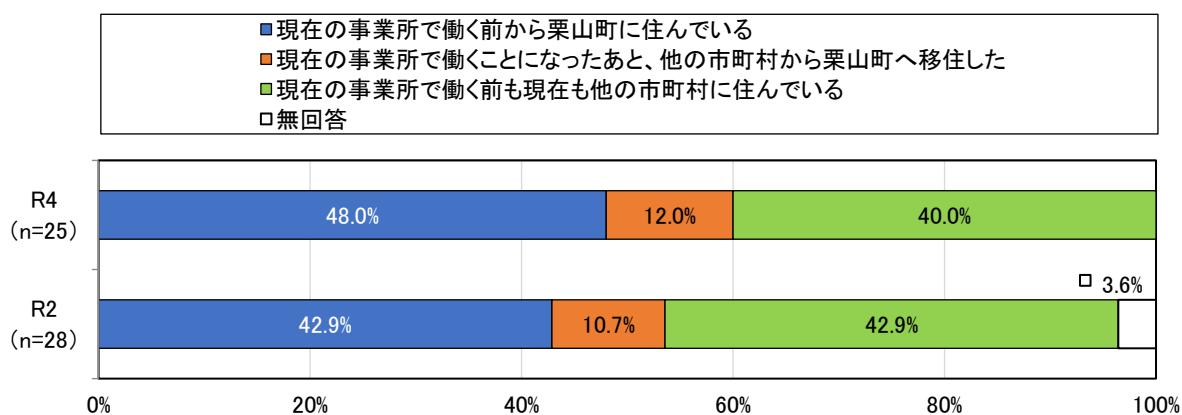
図表 1-8 出身地



(9) 居住地

居住地は、『栗山町に住んでいる（「現在の事業所で働く前から栗山町に住んでいる」と「現在の事業所で働くことになったあと、他の市町村から栗山町へ移住した」の合計）』が60.0%、「現在の事業所で働く前も現在も他の市町村に住んでいる」が40.0%となっている。

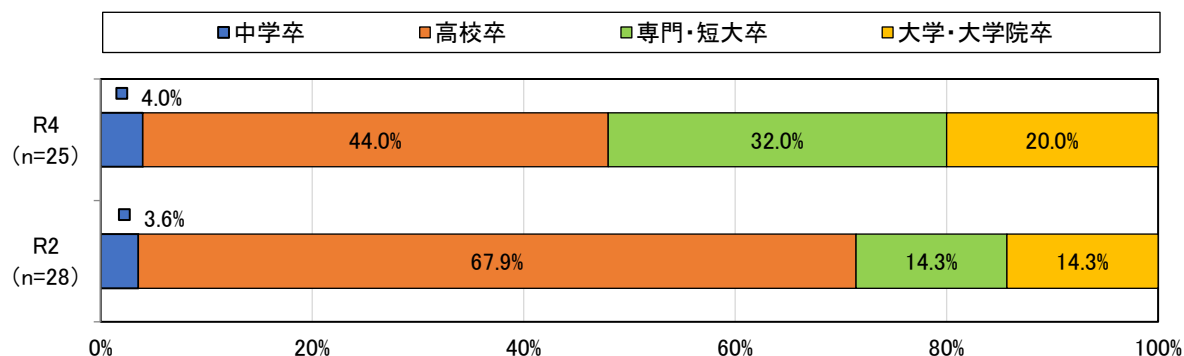
図表 1-9 居住地



(10) 学歴

学歴は、「高校卒」が44.0%で最も高く、次いで、「専門・短大卒」「大学・大学院卒」となっている。

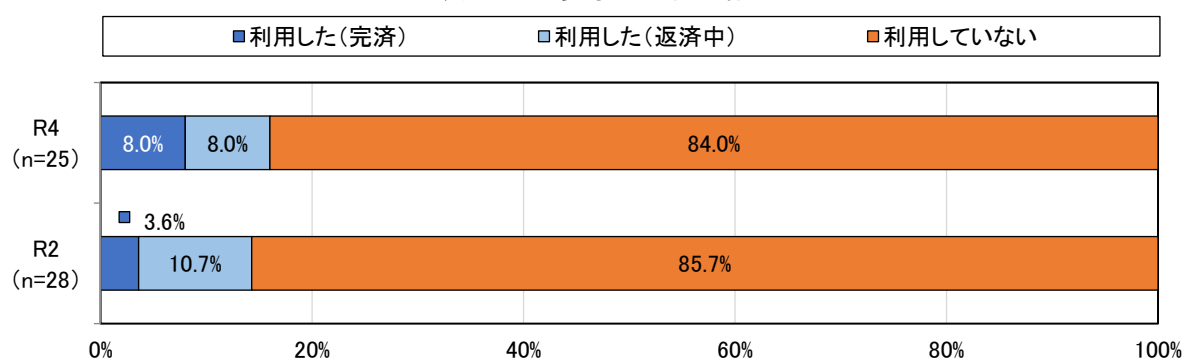
図表 1-10 学歴



(11) 奨学金の利用有無

奨学金の利用有無は、「利用していない」が84.0%を占めている。

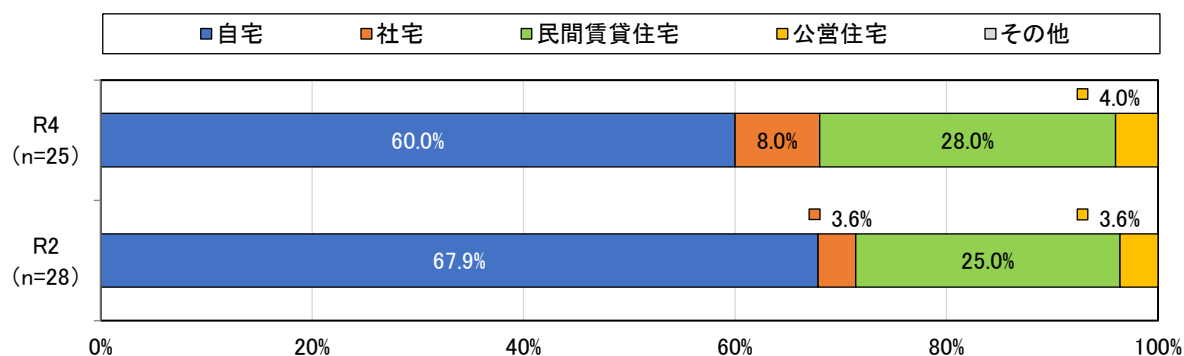
図表 1-11 奨学金の利用有無



(12) 住まい

住まいは、「自宅」が60.0%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅」となっている。

図表 1-12 住まい

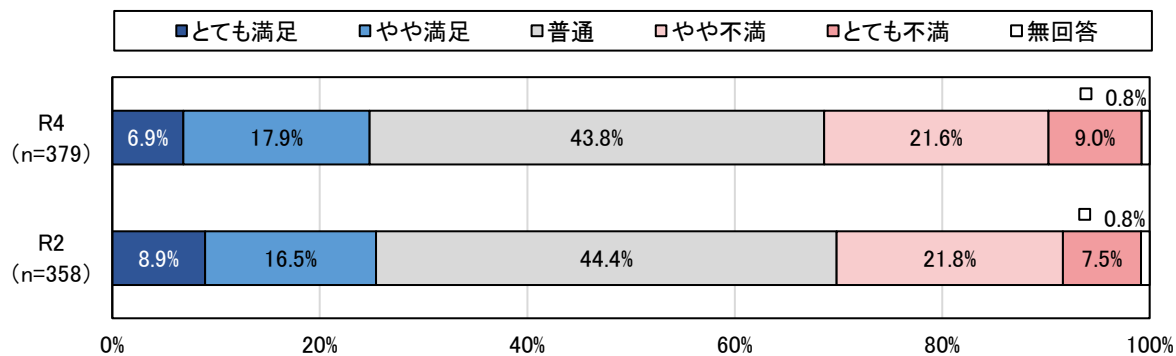


2 現在の収入・手当について

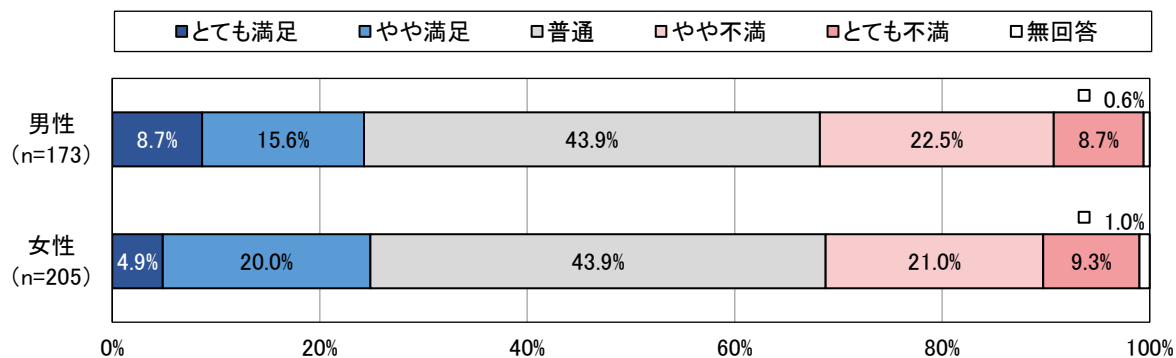
【問2】現在の収入（基本給）について満足していますか。

現在の収入（基本給）の満足度は、「普通」が全体の43.8%で最も高くなっている。

図表 2-1 現在の収入（基本給）の満足度



図表 2-2 現在の収入（基本給）の満足度【性別】

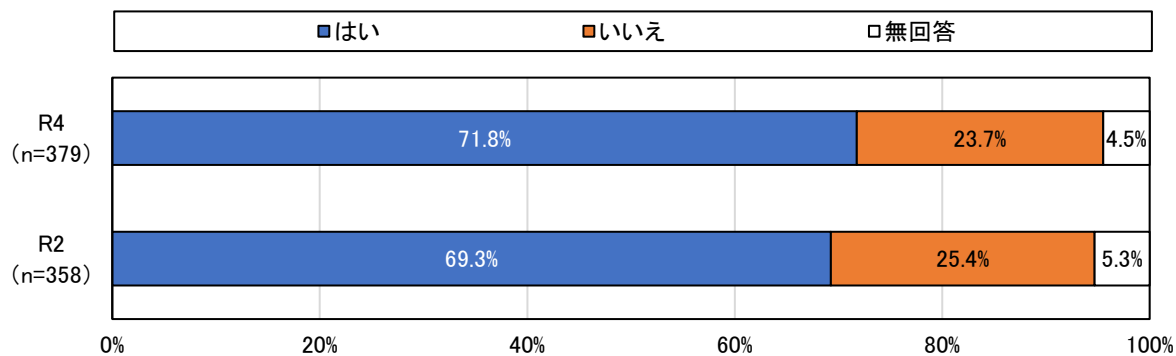


【問3】各種手当は十分に支給されていると思いますか。

各種手当は十分に支給されていると思うかについて、「はい」が71.8%を占めている。

各種手当が十分に支給されていると思わない理由は、手当制度が無いことや、全体的または一部手当が不足していることなどがみられる。

図表 3 各種手当の支給



各種手当が十分に支給されていると思わない主な理由

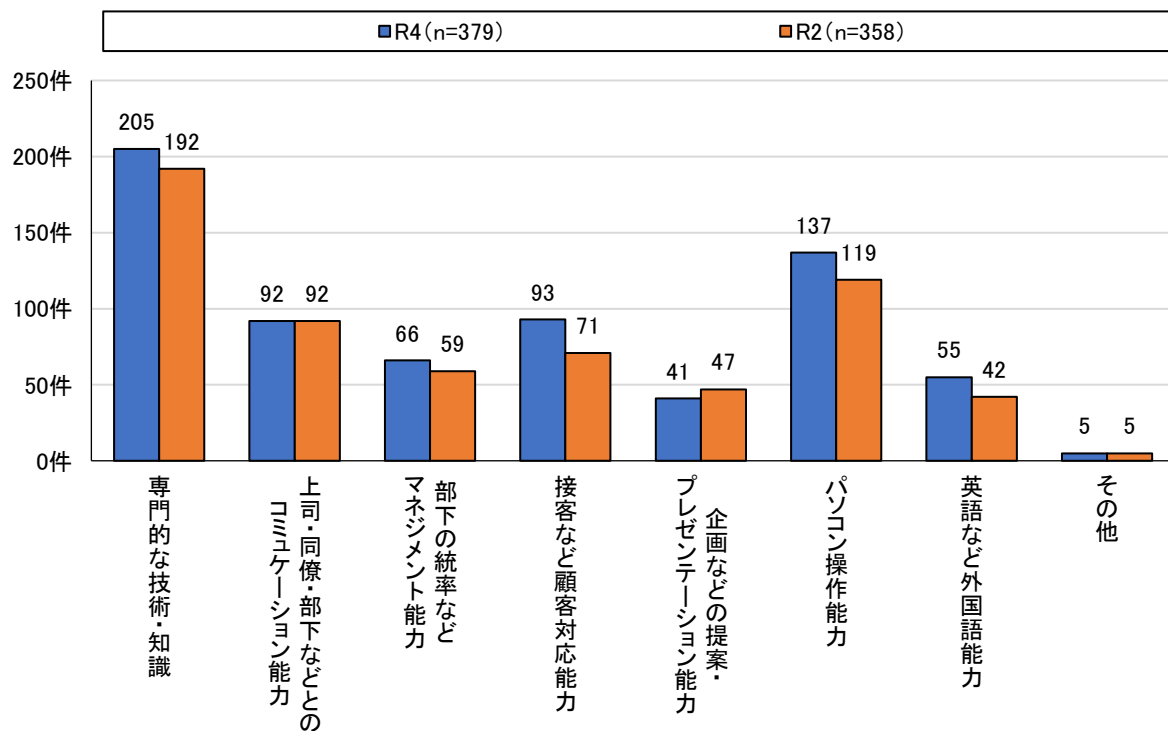
「手当制度が無い又は全体的に不足している」「燃料手当、寒冷地手当が不足している」
「住宅手当が不足している」「残業・時間外手当が不足している」
「通勤手当が不足している」「賞与が不足している」
「家族手当・扶養手当が不足している」

3 スキルアップについて

【問4】どのようなスキルを向上させたい（身につけたい）と思いますか。 複

向上させたい（身につけたい）と思うスキルは、「専門的な技術・知識」が205件で最も多く、次いで「パソコン操作能力」「接客など顧客対応能力」「上司・同僚・部下などとのコミュニケーション能力」となっている。

図表 4 向上させたい（身につけたい）と思うスキル 複

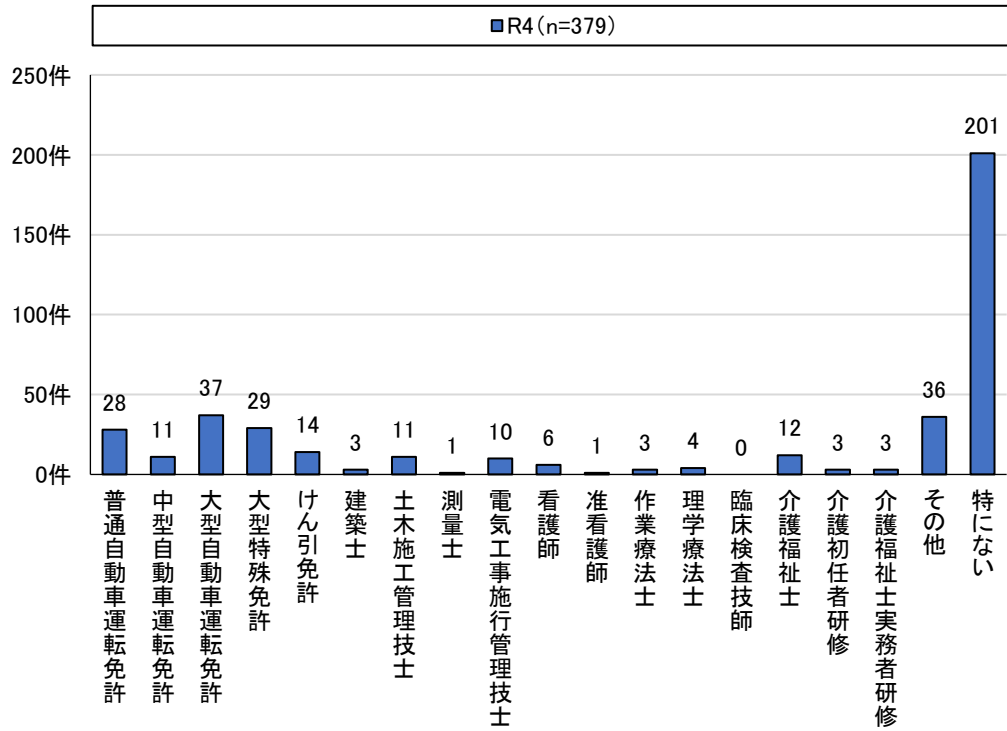


【問5】どのような免許・資格を取得したいと思いますか。複

取得したい免許・資格は、「特にない」が201人で最も多くなっている。

取得したいと回答があった免許・資格のなかでは、「大型自動車運転免許」が37件で最も多く、次いで「大型特殊免許」「普通自動車運転免許」となっている。

図表 5 取得したい免許・資格 複



取得したい免許・資格「その他」の主な内容	
運輸・通信関係	「フォークリフト」「ドローン操縦士」
製造関連技能	「危険物取扱者」
医療・保健・衛生・ 社会福祉	「ケアマネジャー」「心理士」「カウンセラー」 「保育士」「衛生管理者」「薬剤師」「手話」 「介護支援専門員」「認知症ケア専門士」 「リンパ浮腫セラピスト」「サービス管理責任者」
事務処理関係	「簿記」「運行管理者」「社会保険労務士」 「税理士」「司法書士」「行政書士」 「宅地建物取引士」「医療事務」 「ファイナンシャルプランナー」 「パソコン技能検定」「リトミック指導者」 「認定アウトドアガイド」「ツリーイング」 「英語・外国語」
営業・販売・ サービス・保安関係	「登録販売者」「庭師」

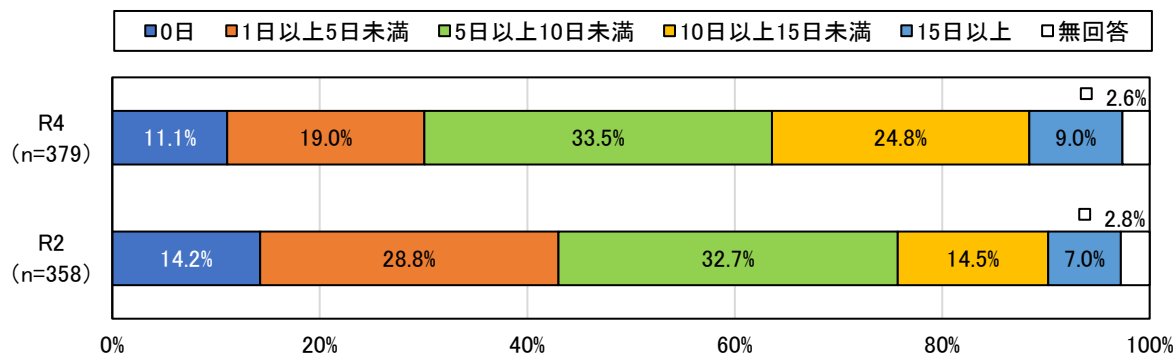
4 休業・休暇について

【問6】最近1年間の有給休暇の取得日数をお答えください。

最近1年間の有給休暇の取得日数は、「5日以上10日未満」が33.5%で最も高く、次いで「10日以上15日未満」「1日以上5日未満」となっている。

令和2年度と比較すると、『10日以上』が12.3ポイント増加し、『5日未満』が12.9ポイント減少している。

図表 6 最近1年間の有給休暇の取得日数

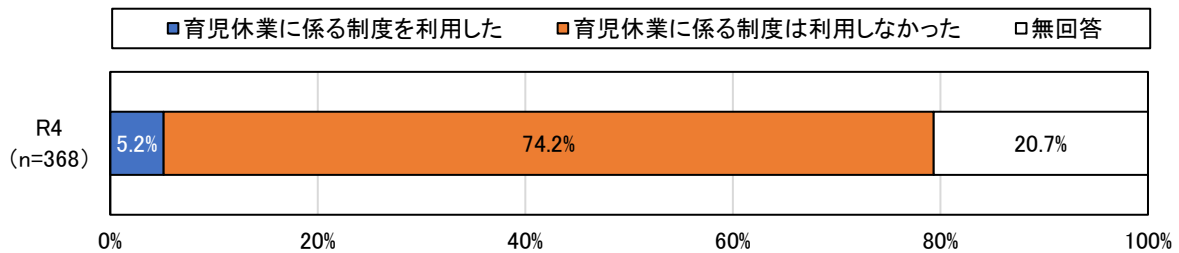


※問7～問11は問(6)で「常用従業員」「パート従業員」を選択した方が回答

【問7】あなたは、ご自身または配偶者の出産（過去10年間（平成24年4月1日～令和4年3月31日））にあたり、育児休業に係る制度は利用しましたか。

育児休業に係る制度の利用有無は、「育児休業に係る制度は利用しなかった」が74.2%を占めている。

図表 7 育児休業制度の利用有無

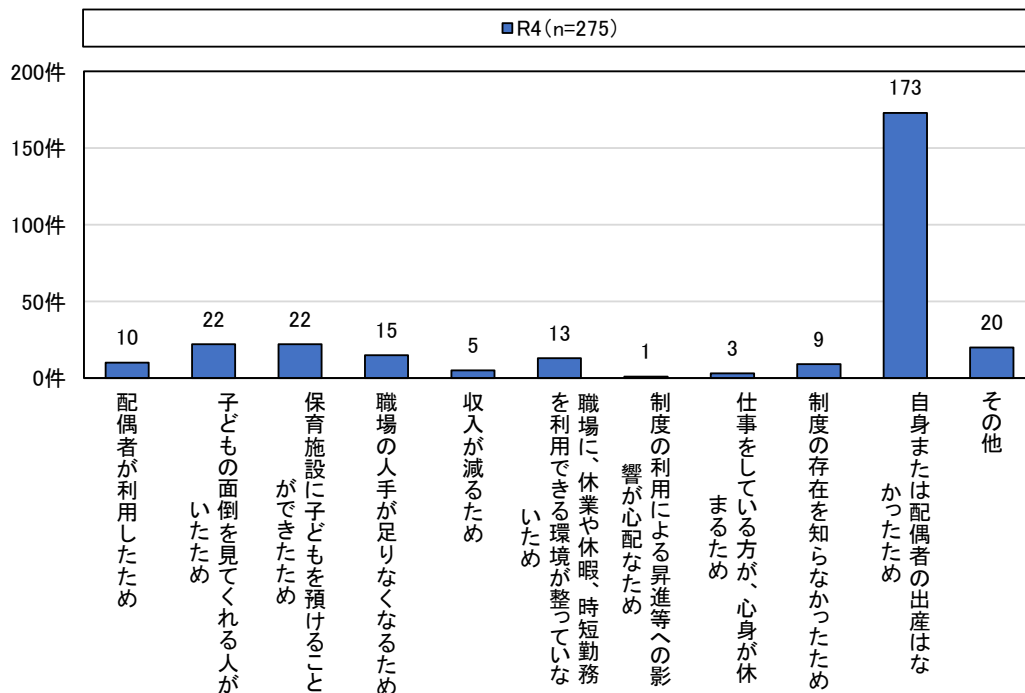


※問7で「育児休業に係る制度は利用しなかった」を選択した方が回答

【問8】育児休業に係る制度を利用しなかった理由は何ですか。【複】

育児休業に係る制度を利用しなかった理由は、「自身または配偶者の出産はなかったため」が173件で最も多く、次いで「子どもの面倒を見てくれる人がいたため」と「保育施設に子どもを預けることができたため」となっている。

図表 8 育児休業に係る制度を利用しなかった理由 【複】



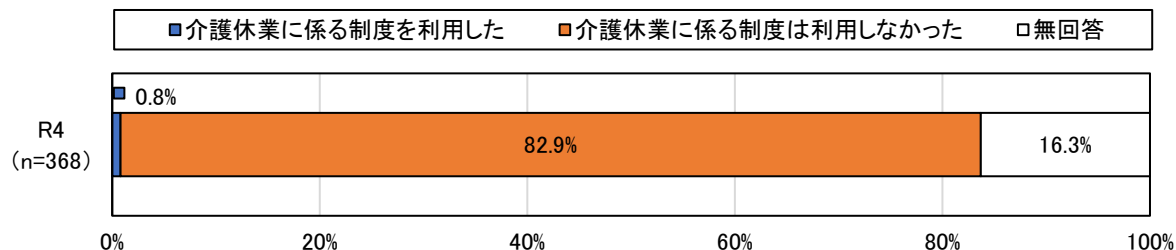
育児休業に係る制度を利用しなかった理由「その他」の主な内容

「出産時点では就労していない」

【問 9】あなたは、ご家族の介護（過去 10 年（平成 24 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日））にあたり、介護休業に係る制度は利用しましたか。

介護休業制度の利用有無は、「介護休業に係る制度は利用しなかった」が 82.9%を占めている。

図表 9 介護休業制度の利用有無

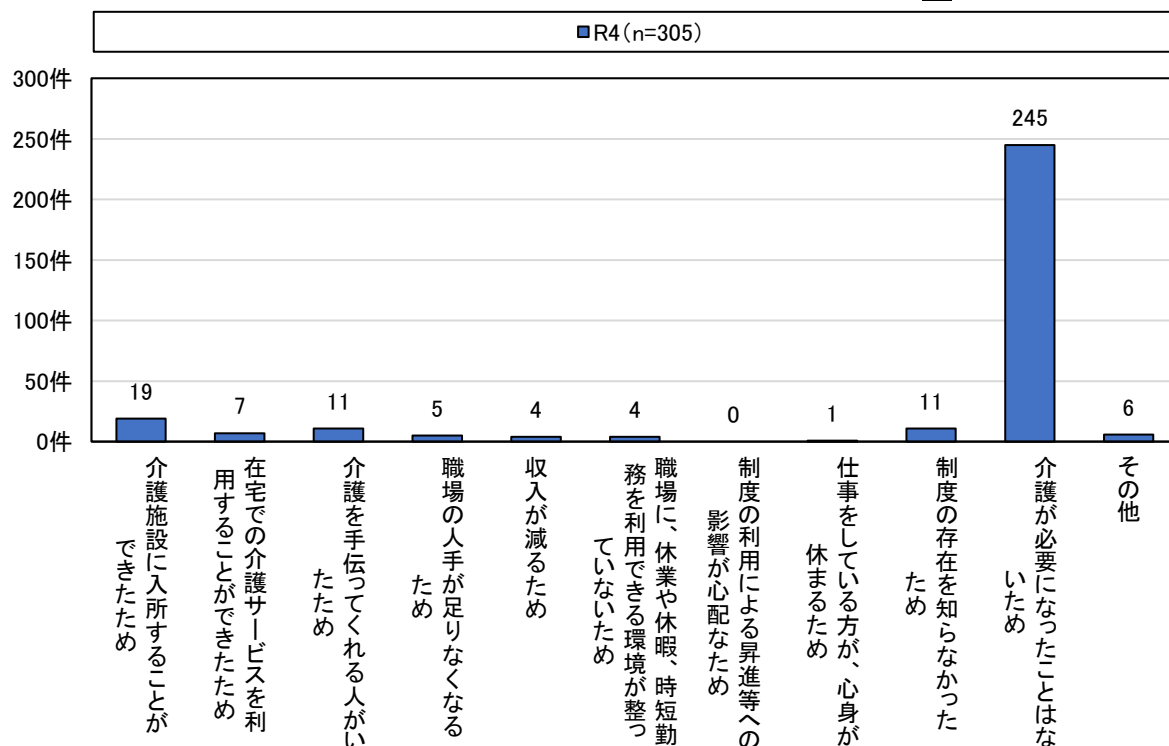


※問9で「介護休業に係る制度は利用しなかった」を選択した方が回答

【問 10】介護休業に係る制度を利用しなかった理由は何ですか。 複

介護休業に係る制度を利用しなかった理由は、「介護が必要になったことはないため」が 245 件で最も多く、次いで「介護施設に入所することができたため」「介護を手伝ってくれる人がいたため」と「制度の存在を知らなかったため」となっている。

図表 10 介護休業に係る制度を利用しなかった理由 複



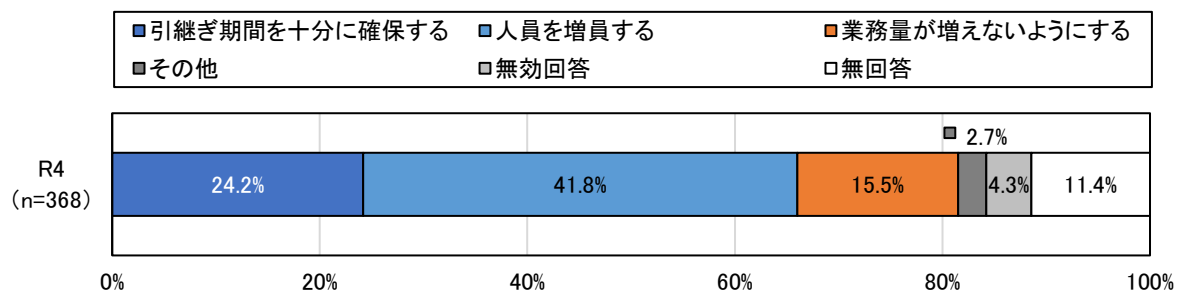
介護休業に係る制度を利用しなかった理由「その他」の主な内容

「有休や所定休日で間に合ったため」「制度の範囲外だったため」

【問 1 1】職場で周りの方が育児休業・介護休業を取得するとなった場合、どのようなサポートがあれば良いと思いますか。

職場で周りの方が育児休業・介護休業を取得するとなった場合にありと良いサポートは、「人員を増員する」が41.8%で最も高く、次いで「引継ぎ期間を十分に確保する」「業務量が増えないようにする」となっている。

図表 11 育児休業・介護休業を取得する場合にありと良いサポート



育児休業・介護休業を取得する場合にありと良いサポート「その他」の主な内容

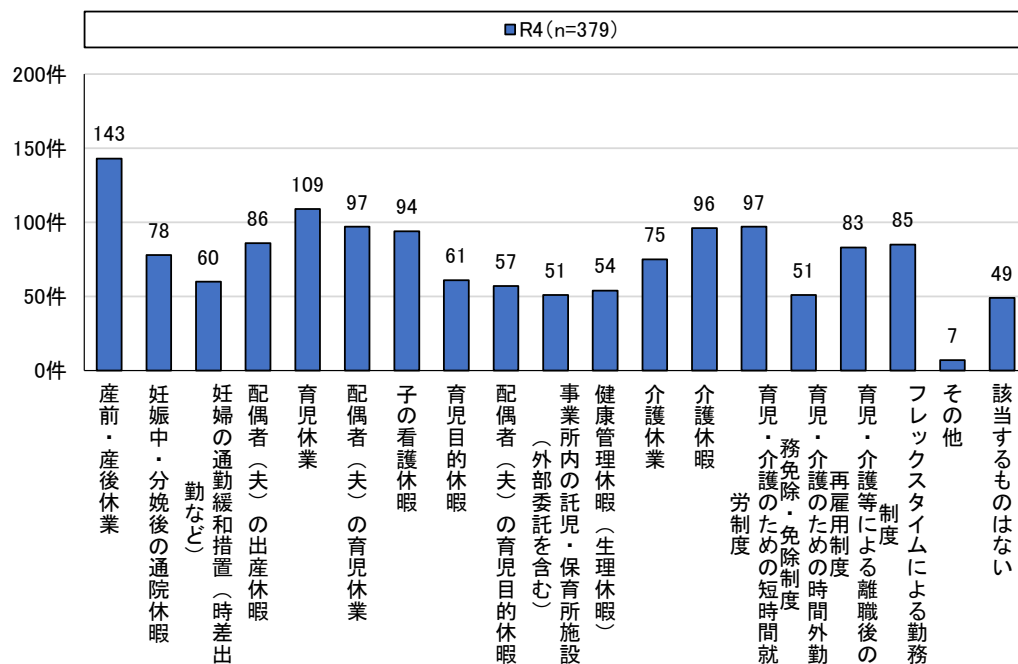
「休業しやすい環境」「行政等からの会社へのサポート」「周囲の理解」
「職場復帰への支援」

5 その他について

【問１２】あなたは、男女ともに活躍できる職場づくりに向けて、どのような制度の充実が必要だと思いますか。【複】

男女ともに活躍できる職場づくりに向けて、必要だと思う制度は、「産前・産後休業」が143件で最も多く、次いで「育児休業」「配偶者（夫）の育児休業」と「育児・介護のための短時間就労制度」「介護休暇」となっている。

図表 12 男女ともに活躍できる職場づくりに向けて、必要だと思う制度 【複】



男女ともに活躍できる職場づくりに向けて、必要だと思う制度

「その他」の主な内容

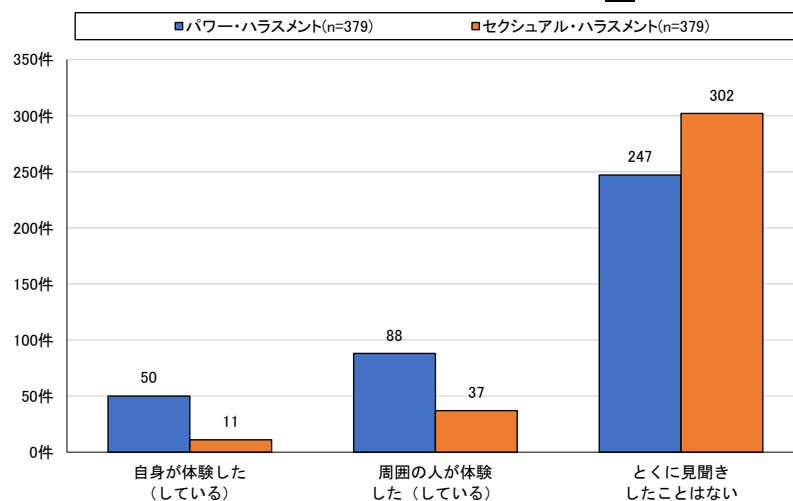
「病児保育制度」「利用しやすい休暇制度」「理解促進のための制度」
「休業をカバーする従業員が評価される制度」「子育て終了後の雇用制度」
「ホームページの改善」

【問 13】あなたは、職場でのハラスメントについて、ご自身が体験または見聞きしたりしたことはありますか。複

職場でのハラスメントについて、パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントともに「とくに見聞きしたことはない」が最も多く、次いで「周囲の人が体験した（している）」となっている。

また、2つのハラスメントを比較すると、「自身が体験した（している）」「周囲の人が体験した（している）」ともに、パワー・ハラスメントがセクシュアル・ハラスメントより多くなっている。

図表 13 職場でのハラスメント 複



<パワー・ハラスメント・性別>

回答	自身が体験した（している）		周囲の人が体験した（している）		とくに見聞きしたことはない	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
① 男性(n=173)	15	8.7%	38	22.0%	119	68.8%
② 女性(n=205)	35	17.1%	49	23.9%	128	62.4%
回答数計	50	-	88	-	247	-
回答者数計	379	-	379	-	379	-

<セクシュアル・ハラスメント・性別>

回答	自身が体験した（している）		周囲の人が体験した（している）		とくに見聞きしたことはない	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
① 男性(n=173)	1	0.6%	16	9.2%	147	85.0%
② 女性(n=205)	10	4.9%	21	10.2%	154	75.1%
回答数計	11	-	37	-	302	-
回答者数計	379	-	379	-	379	-

IV 従業員調査結果

<パワー・ハラスメント・年代別>

回答	自身が体験した (している)		周囲の人が体験 した(している)		とくに見聞き したことはない	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
① 10代(n=1)	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
② 20代(n=39)	5	12.8%	9	23.1%	26	66.7%
③ 30代(n=66)	9	13.6%	15	22.7%	42	63.6%
④ 40代(n=110)	14	12.7%	19	17.3%	77	70.0%
⑤ 50代(n=103)	13	12.6%	33	32.0%	61	59.2%
⑥ 60代以上(n=60)	9	15.0%	12	20.0%	40	66.7%
回答数計	50	-	88	-	247	-
回答者数計	379	-	379	-	379	-

<セクシャル・ハラスメント・年代別>

回答	自身が体験した (している)		周囲の人が体験 した(している)		とくに見聞き したことはない	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
① 10代(n=1)	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
② 20代(n=39)	1	2.6%	4	10.3%	34	87.2%
③ 30代(n=66)	4	6.1%	7	10.6%	49	74.2%
④ 40代(n=110)	4	3.6%	11	10.0%	91	82.7%
⑤ 50代(n=103)	2	1.9%	13	12.6%	78	75.7%
⑥ 60代以上(n=60)	0	0.0%	2	3.3%	49	81.7%
回答数計	11	-	37	-	302	-
回答者数計	379	-	379	-	379	-

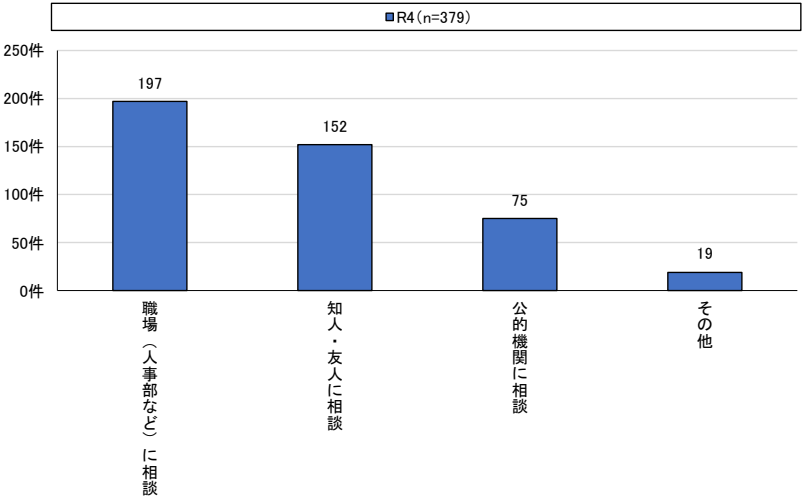
【問 14】あなたは、職場におけるハラスメントがあった場合、どこに相談しますか。【複】

職場にハラスメントがあった場合の相談先は、「職場（人事部など）に相談」が 197 件で最も多く、次いで「知人・友人に相談」「公的機関に相談」となっている。

性別にみると、女性は「知人・友人に相談」の割合が、男性に比べて高くなっている。

年代別にみると、20 代と 30 代は「知人・友人に相談」の割合が、他の年代と比べて高くなっている。

図表 14 職場でハラスメントがあった場合の相談先 【複】



<性別>

回答	職場（人事部など）に相談		知人・友人に相談		公的機関に相談		その他	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
① 男性(n=173)	91	52.6%	50	28.9%	41	23.7%	8	4.6%
② 女性(n=205)	105	51.2%	102	49.8%	34	16.6%	11	5.4%
回答数計	197	-	152	-	75	-	19	-
回答者数計	379	-	379	-	379	-	379	-

<年代別>

回答	職場（人事部など）に相談		知人・友人に相談		公的機関に相談		その他	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
① 10代(n=1)	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 20代(n=39)	20	51.3%	25	64.1%	9	23.1%	0	0.0%
③ 30代(n=66)	33	50.0%	33	50.0%	17	25.8%	4	6.1%
④ 40代(n=110)	63	57.3%	37	33.6%	20	18.2%	5	4.5%
⑤ 50代(n=103)	55	53.4%	33	32.0%	20	19.4%	8	7.8%
⑥ 60代以上(n=60)	26	43.3%	23	38.3%	9	15.0%	2	3.3%
回答数計	197	-	152	-	75	-	19	-
回答者数計	379	-	379	-	379	-	379	-

職場でハラスメントがあった場合の相談先「その他」の主な内容

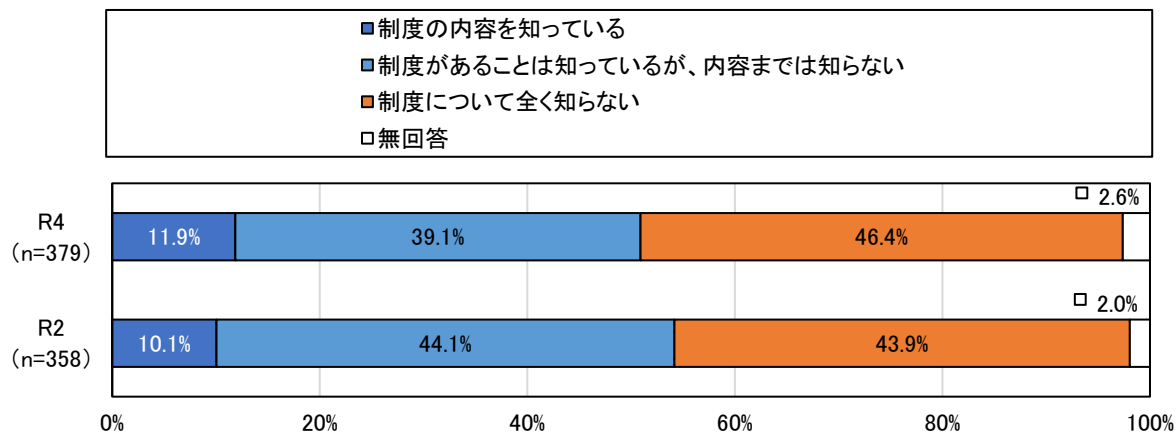
「相談しない（できない）」「相談先がない」「家族（夫・母など）」

【問 15】あなたは、栗山町が実施する以下の制度を知っていますか。

(1) 栗山町若者移住促進助成制度の認知状況

栗山町若者移住促進助成制度の認知状況は、『知っている（「制度の内容を知っている」と「制度があることは知っているが、内容までは知らない」の合計）』が 51.0%で、そのうち「制度の内容を知っている」は 11.9%となっている。

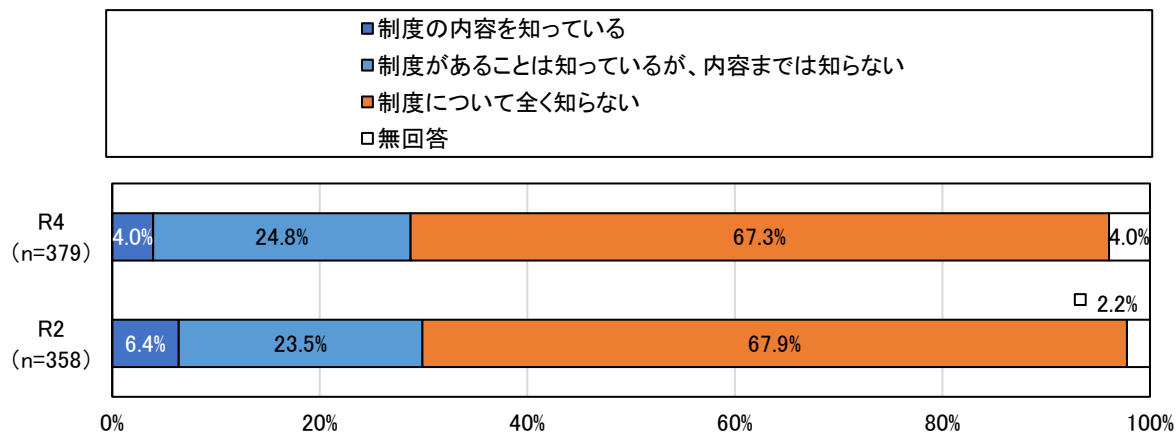
図表 15-1 栗山町若者移住促進助成制度の認知状況



(2) 栗山町 UI ターン等奨学金返済助成制度の認知状況

栗山町 UI ターン等奨学金返済助成制度の認知状況は、『知っている（「制度の内容を知っている」と「制度があることは知っているが、内容までは知らない」の合計）』が 28.8%で、そのうち「制度の内容を知っている」は 4.0%となっている。

図表 15-2 栗山町 UI ターン等奨学金返済助成制度の認知状況



(3) 栗山町 UIJ ターン移住支援金制度の認知状況

栗山町 UIJ ターン移住支援金制度の認知状況は、『知っている（「制度の内容を知っている」と「制度があることは知っているが、内容までは知らない」の合計）』が 28.5%で、そのうち「制度の内容を知っている」は 3.4%となっている。

図表 15-3 栗山町 UIJ ターン移住支援金制度の認知状況

